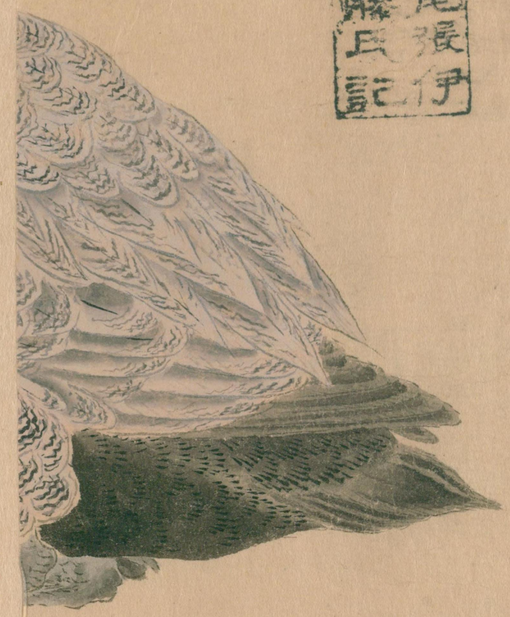
国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

北島水戸方云アカダ



尾張伊藤氏記

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

ヨナガカモ

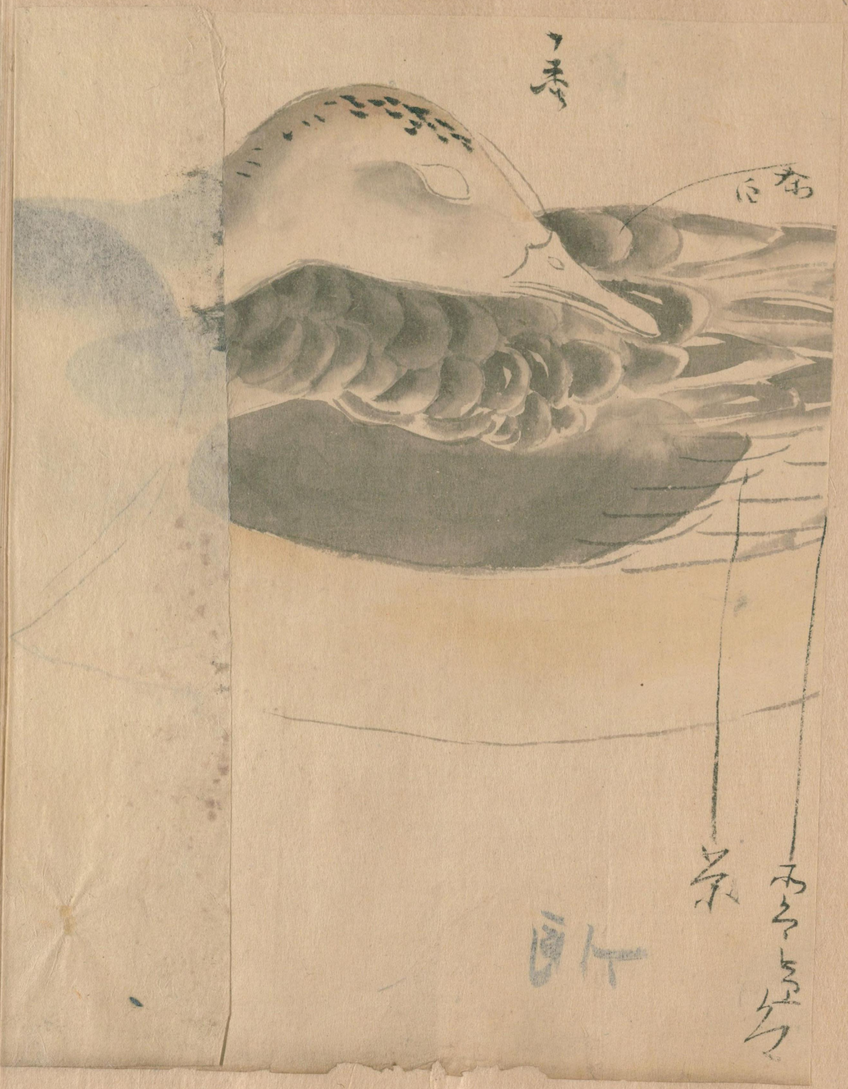
国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜　2編20巻』　請求記号　寄別11-10

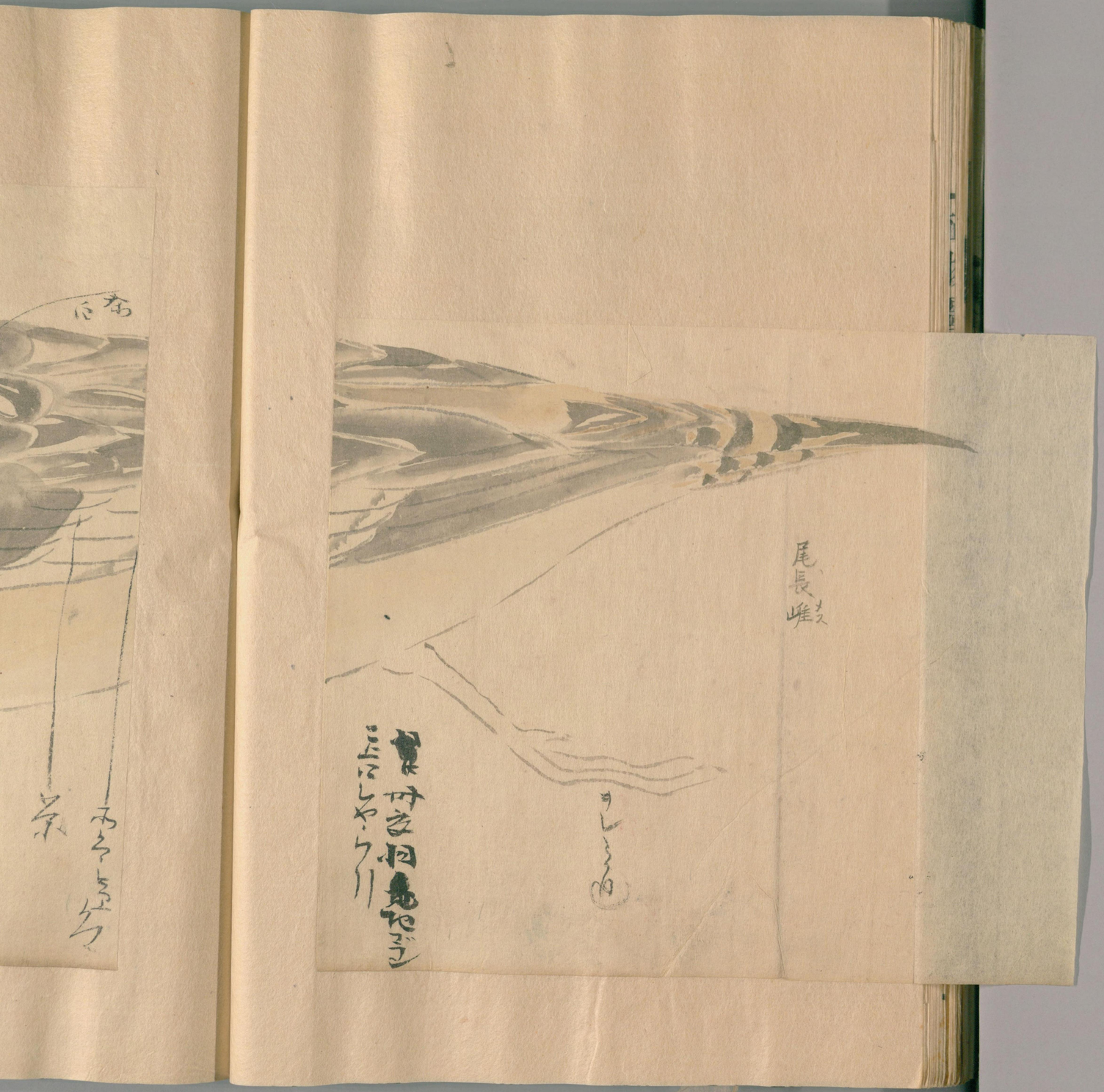
国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用



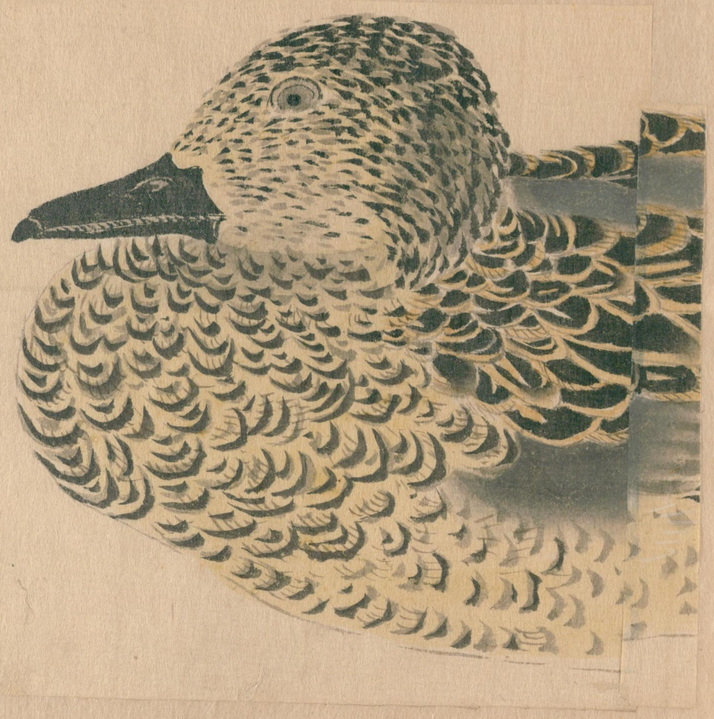
国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』
請求記号 寄別11-10
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

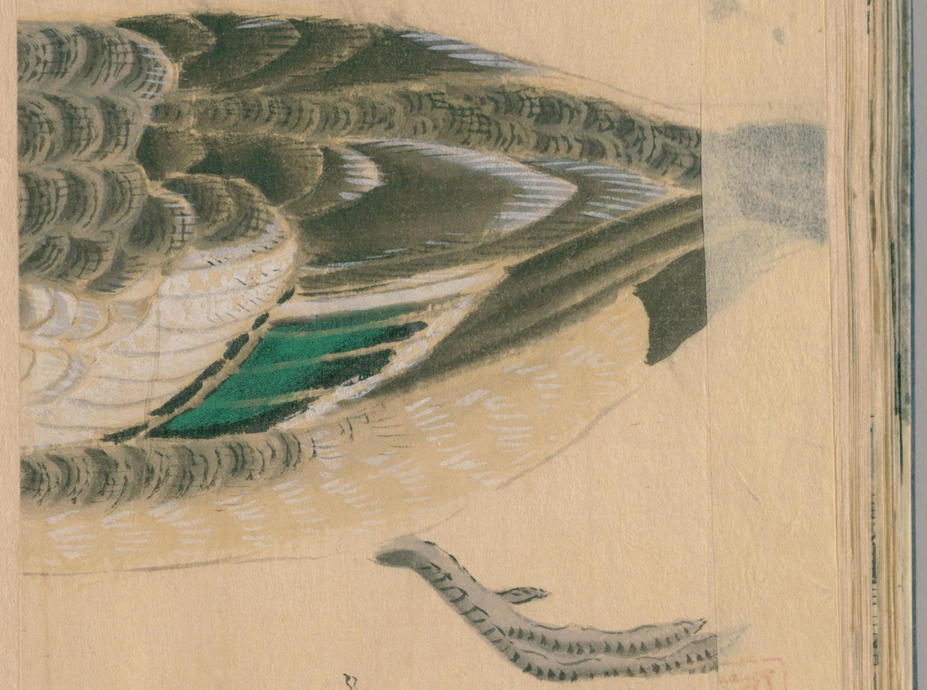
直信筆

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用



直信筆

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

直信筆

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

問鴨鳧乃字正字まや

答古よりの用ひ来るあれど今改むるものなれど非ず鴨と
ふハ鶩(ボウ)の事ふ〻てあるゆゑかもハ野鴨とふべきなれど鴨
のみを家鴨とふことハいかゞ野鴨とをかゝるにあらず
鴨(カモ)と鳧(カモ)とハいかゞ鳧之字のみにて野鴨之事ふ〻てい
ふもの也誤心又鳧をけりと訓まれども鳧ハかものみ
なれば鳧をけりと訓もふ非也と思ふべし
古今よりのをとゝふ云まがもの事ゝ思ふを経
記多く雛よりつゞまれ雛を水札をけりと訓ふる

又非あを訓蒙字會に水札をけりとふを鵜(ニギ)の一名あり又
あしる本音のひろゝ

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10
ガラス使用

あいさ　万葉集に秋沙とかけて鳧の乱也と云り秋子く出ることすてに名をおしみ

へー又胴長　あいさ神子（こ）　あいさ小あいさ黄足あいさ　姫（ひめ）あいさ　鵜あいさなどの

ホあらゐきさともまた有を取改

もみのある月のひかりによこさりて渡るあきさの音のさやけさ

右八和訓　栞巻ノ一ニ出

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

佐加津良

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

ナ(ロ.)

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜　2編20巻』　請求記号　寄別11-10

加利
㕝出記紀万鈔深丹万
鴈字鈔深丹同俗或称此音記万軽字讀曰加流

称此物也仏覺以為加茂誤也記紀有河ー指在川
平字有宇ー為鴻或鴈可疑
績記載白ー瑞物乎

ガン

雁風呂

○雁風呂
世俗に雁ハ秋来り春帰る所常盤満といふ蝦夷の地なりと按るに
西土の雁は一様に限りて往来もあらば南部津軽より渡り来る
ハ尽く所謂中國九州等に来るものハ朝鮮の地に在るを思ひ
所謂常盤満といふ地名ハ古来より所説ある事なり中華にても
北方に往て南に来る所の夏小正ニ曰雁以北方為居云々又月令廣
義にも候雁北鳴漢書雁知時之鳥熱ヲ帰寒ニ北寒氣来江南沙漠
北乃其居也といへり云伝ふ奥南部の地よ雁の渡り来る海上甚
遠し故に各嘴に木の枝をくはへ渡る中海にして此木を海に浮べ
其上にて暫く羽を休めまたくはへて立南部の地に来る時木を
ごとく捨去絶して春帰る時又此木をくはへて帰るに所々残て撃
殺られ帰るもかく残て多く人の手に落る故よいつにても此の木残
許りあるを土人拾ひ集め雁の為に此木をもて風呂焚て諸人
を入浴せしむその追善ならむとして雁風呂と云と
淮南子曰雁従風飛以愛氣力銜蘆而飛
以避繒繳矣

筱埃随筆

ひしくひ　俗よ鴻をよへり菱喰の義之といへり文選の点よもかり
かりとも云へたり○えこうひしくひなる者あり一名逆類一名沼太
良眼ノ上よ淡白條あり嘴脚黒色なり　和訓栞巻二十一

ヒシクヒ

ツカツラ

ツカツラ　錦ノ袍ニ徽小緌ヲ垂ル
大和武士ノ陣ニ用ヰ
ウノ白ノ黒斑ヨリ大ナリ　信濃
ヨリ味方ヨリ　目安

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10
ガラス使用

直信画

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

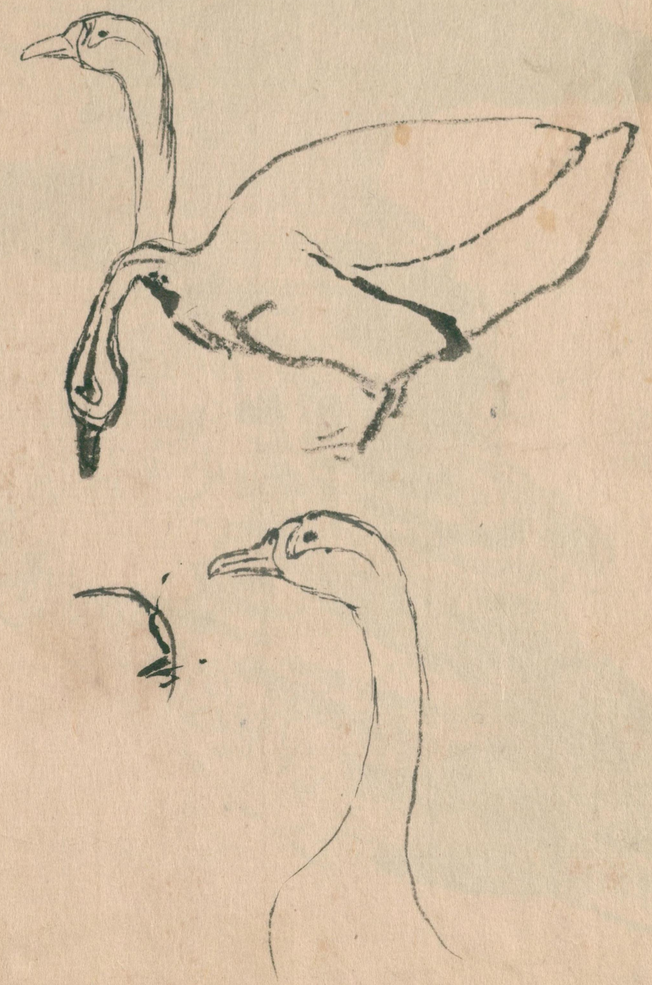
国立国会図書館
タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10
ガラス使用

鷹狩藏国豊島
日本地誌提要 一

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

水谷豊文先生自筆



水谷豊文先生自筆　下絵

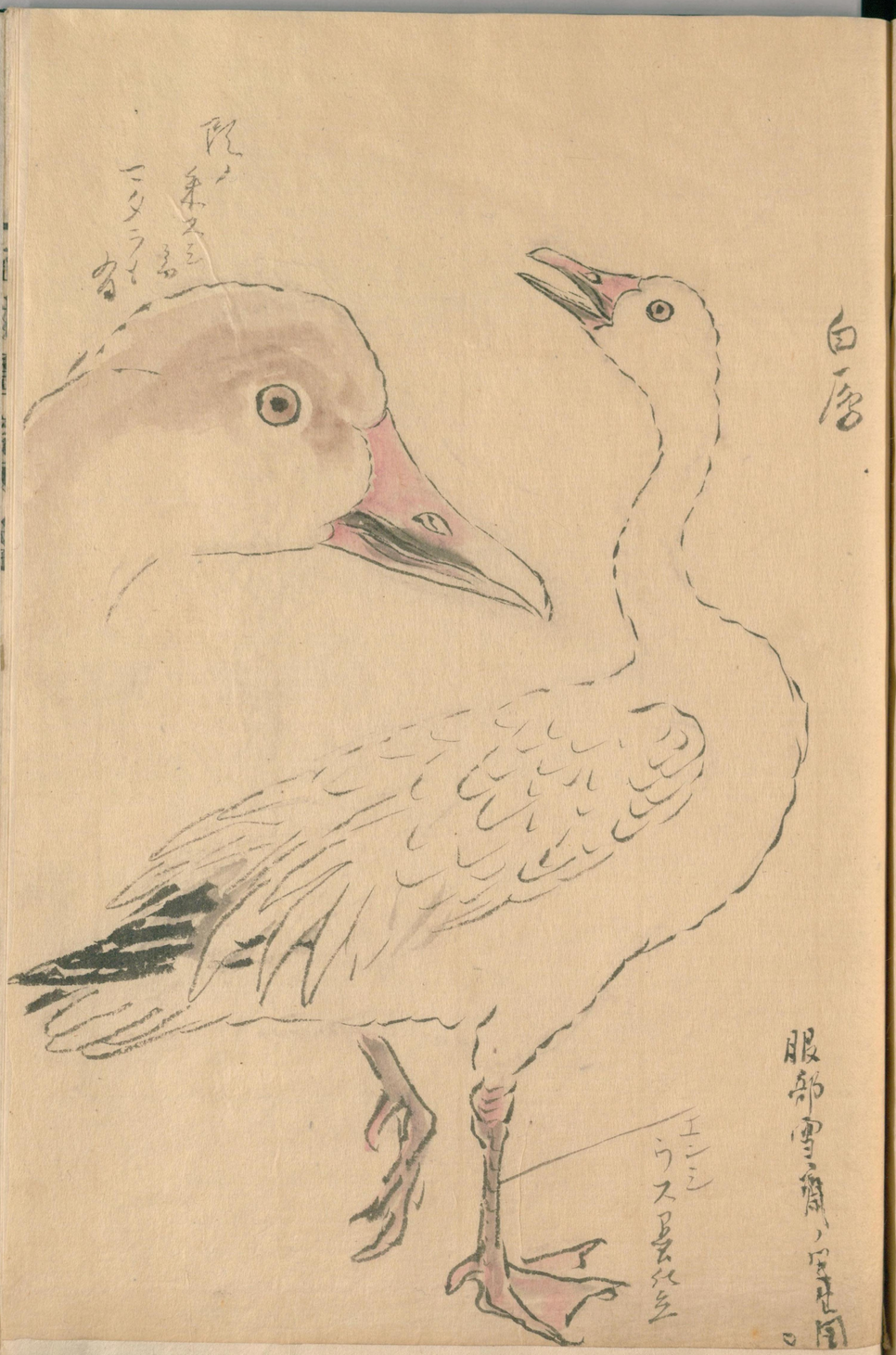
国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

水谷豊文先生自筆下画

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10
ガラス使用

鵞鳥

本草有蒼白二色
大而垂胡嚢者

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10
ガラス使用

鷸　出紀今間有外貢爾釋紀称オホカリ巨信紀有ー皮雖
讀曰サヽキ疑蜈字誤　名物藻苦小鷸也

三若水

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10
ガラス使用

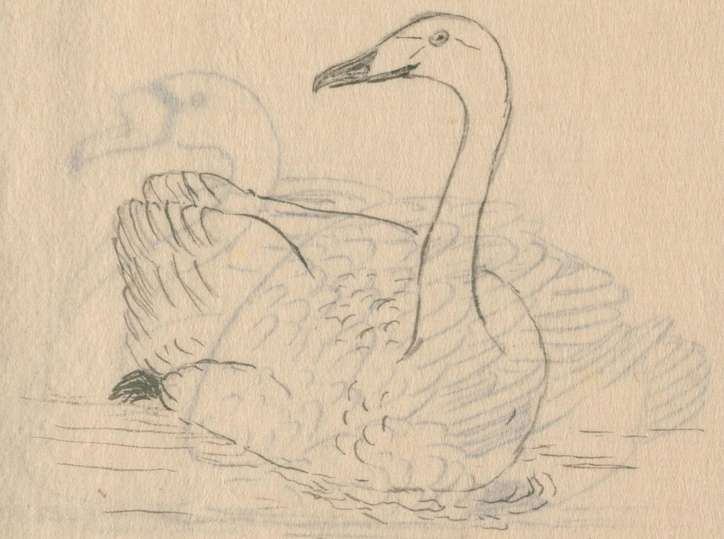
南蘋

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

XXVIII

全身白



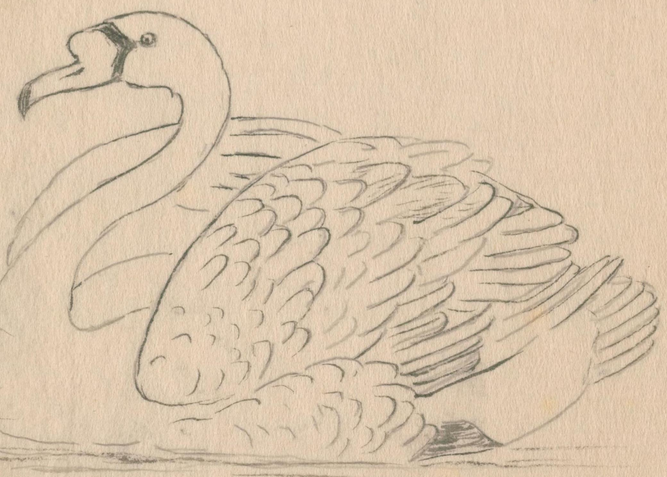
国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用

XXVIII

XXVIII

嘴上ニ赤キ疣ノ如キモノアリ古池白鳥ニ充ル稽古ト云



国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

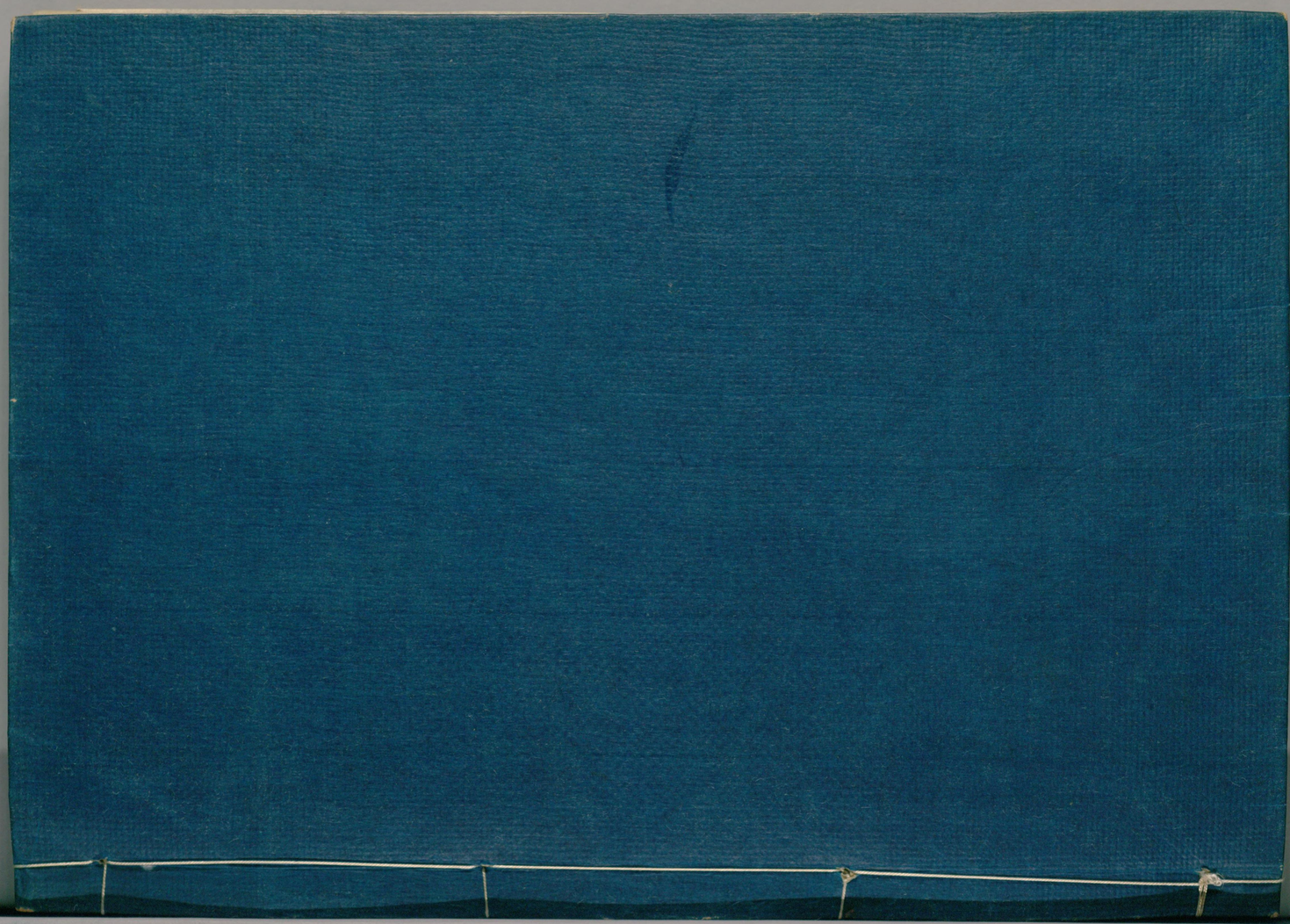
ガラス使用

寄 30
97

別 11
20
10

国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜 2編20巻』 請求記号 寄別11-10

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『錦窠禽譜　2編20巻』　請求記号　寄別11-10
ガラス使用